

第2回自治医科大学附属病院地域医療連携研究会が

～ 高血圧と心血管疾患 ～をテーマに開催されました

地域医療連携部

平成25年2月2日（土）、ホテル東日本宇都宮において、自治医科大学附属病院主催、栃木県医師会・栃木県歯科医師会後援の「第2回自治医科大学附属病院地域医療連携研究会」が開催されました。県内外の地域医療に関わる医師・歯科医師・看護師・その他医療技術職員や連携業務に携わる方々に院内参加者を含め、約160名の参加がありました。

草野地域医療連携部長の開催挨拶に引き続き、三澤吉雄教授と小黒恵司准教授の司会で第1部講演会を開始しました。

始めに苅尾七臣教授から「栃木県の循環器疾患の特徴と包括的リスク管理に向けて」と題して、栃木県の実情を再確認し循環器疾患のより有効な地域連携の重要性についての講演がありました。次に池本智一助教より「心筋梗塞の急性期包括的治療」として、迅速な診断による初期治療から合併症、治療、リハビリ、2次予防にいたる経過が動画も交えて紹介されました。続いて滑川道人講師より「脳卒中の急性期治療と再発予防」と題して脳卒中の中でも多くを占める脳梗塞についてrt-PA治療や再発予防治療薬の選択、在宅への支援等について講演されました。

第2部は中野今治教授と新保昌久准教授を司会に「心血管疾患地域連携のコンセンサスに向けて」と題し、第1部講演者と司会者をパネラーとして、研究会参加者とのパネルディスカッションを行いました。心血管疾患急性期の連携としては、早期に急性期病院への相談・搬送が重要であると共通認識されました。また、慢性期の連携では、地域中核病院や地域の診療所もそれぞれの機能を発揮して発症防止や治療後の再発予防に取り組む必要があり、大学病院との連携を強化するための連絡先の明確化などの要望が出されるなど活発な意見交換が行われ、地域連携における当院への期待の大きさを再確認いたしました。

最後に安田附属病院長から病診連携及び病病連携を密にし、地域全体で患者を支える医療に協働して取り組むための協力要請をして終了しました。

今後も時宜を得たテーマによる研究会を開催し、地域の医療関係機関との絆を強化し、大学病院の円滑な運営が図られるよう企画してまいりますので、院内の皆様のご協力をお願いいたします。

なお、今回の研究会の全容は2月末に図書館のビデオライブラリーに登載されますので、ご利用ください。

また、研究会終了後開催された懇親会では、各医療機能を有する機関で活躍されている方々のお話も交えてface to faceのコミュニケーションが取れ、病診、病病連携の輪が広がりました。



講演会



パネルディスカッション